

平成30年度 郡上市立相生小学校の学校経営全体構想

【学校の教育目標】

豊かな心でやりぬく子

思いやる子 考える子 やりぬく子

【経営方針】

わくわくする学校

合言葉：自分で・自分たちで

【本年度の重点】

きずなづくり

ともに生きる喜びを
味わわせる指導

- ◇4つの宝（あいさつ、そうじ、歌声、絆）の意識を高める活動の充実
- ◇「絆宣言」に基づく、自治的・自発的活動の推進
- ◇教育相談活動の充実

まなびづくり

学ぶ楽しさや喜びを
味わわせる指導

- ◇子どもの課題意識に基づく必然性のある話合いの場の位置付け
- ◇基礎的・基本的事項の確実な定着
- ◇「聞く・話す・書く」学習習慣の確立
- ◇授業に活きる家庭学習

チャレンジづくり

やりぬいた充実感を
味わわせる指導

- ◇願いを大切にしたい学級活動・児童会活動の充実
- ◇「なかよし班活動」（異年齢集団）における自己評価・相互評価の見届けと指導援助の充実
- ◇よりよい生き方を認め、価値付け、広める指導の充実

確かな児童理解

- ・学習状況の確かな見届け
- ・日常の観察やふれあい、面談等を通じた児童理解の充実
- ・生活アンケートやQUアンケートの活用
- ・打合せ等による児童の情報交流
- ・保護者との情報共有

【小中連携】「よさを発揮し、求め合う子の育成」

- ・中学校との情報共有・方針共有
- ・「9年間の教育」でめざす姿に向けた教育の推進
- ・小中職員、小中保護者、公民館、地域等との「めざす姿」の共有と協力体制の確立
- ・郡上学の推進
- ・幼保との連携

【学校評価による学校経営の改善】

- ・各種評価（自己評価 児童による評価 保護者による評価等）を踏まえ、経営の改善を図る。

【職員の構え】

〈信念〉子どもは無限の可能性をもち、常によりよくなろうと精一杯生きている

- ・一人の人間として、人格形成に努める。
- ・子どもの言動の裏にある心情をつかむ。
- ・子どものよさを認め、褒める。
- ・授業づくりに全力を注ぐ。
- ・職員と、保護者と、地域とよりよい関係づくりに励む。

みずみずしい笑顔
さわやかな言葉
張りのある声と行動
思いやりの心で
子どもの支援に徹する教師

【勤務の適正】

- ・勤務時間の管理
- ・ノー残業ディの実施
- ・会議時間の短縮
- ・教育活動、業務内容の見直し及びスリム化